



理想の教師をめざす

◇ **今回は、石原拓哉さん（岐阜大学教育学部）のレポートです！**

関高校卒業生の石原拓哉です。私は今、岐阜県の高等学校の教員をしています。

このレポートでは、今、教員になって思うことやそのきっかけとなった高校時代の話をしたと思います。少しでも皆さんの進路について考えるきっかけや高校生活を充実させる要素となれば嬉しいです。

高校生活について

「絶対に教員になりたい！」と確かな目標になったのは、私が高校3年生の時です。それまでの進路希望調査でも、学校の先生になりたいと書いていましたが、理由は大好きなバレーボールを続けていきたいといった漠然とした理由でした。

確かな目標となったきっかけは、高校2年生の終わりから高校3年生の初めまで2か月間、病気で入院したことです。部活も続けることができないことや、入院のせいで思うような生活が送れず、毎日落ち込んで入院生活をしていました。そんな時、多くの関高校の先生方がお見舞いに来てくださいました。学校の様子、新しいクラスのことなど様々な話をしてくださいました。

特に印象に残っているのは、「勉強で分からないことがあれば遠慮しないでいつでも聞いてね」という言葉とともに、電話番号を私に教えてくださったことです。そういった先生方の優しさにより、入院生活が明るくなったことや、退院してからも学校生活を頑張る原動力になったことを今でも覚えています。それから私も、教師になって生徒の学校生活を応援したい、進路の実現に貢献したいと本気で思うようになりました。

退院してからは、「絶対に教師になってやる！」という強い思いを持ち、毎日必死に勉強しました。また、教師になったときに、「どんな授業をしたいか」や「どんな部活指導をしたいか」といった私自身が教師になってからの姿をイメージして勉強をしました。絶対に教師になると決めてからは、勉強をすることに対して何の抵抗も感じなかったように思います。イメージしていたことを実現するために、今の自分がやるべきことは、勉強をして大学に入ることだと自分のために勉強しているという自覚が持てたからかもしれません。多くの人の支えもあり、無事に岐阜大学教育学部に合格することができました。

大学生活について

大学では、私が、自分自身の教師として足りていないところや伸ばせるところを発見できました。教育学部なので、周りにいる仲間の多くが教師を目指しています。一人ひとりが自分の理想の教師像や教育観、得意なことや長所を活かした授業のスタイルを持っています。それらを知り、吸収できることは、私の教師としての視野を広げる良い糧となりました。

大学ではバレーボール部に所属していました。入部した理由は2点あります。1つは、高校の時の入院で最後までやり遂げることができなかったからです。不完全燃焼のまま高校生活が終わってしまい、達成感があまり感じられませんでした。



岐阜大学バレー部 東海国立体育大会四連覇の記念写真

それが私の中でとても嫌だったので部活動に入ろうと決めました。2点目は、もっとバレーボールの技術を磨きたいと思ったからです。大学の部活はとてもレベルが高いです。練習試合に行った相手チームに、高校の時にTVや雑誌で見た注目選手がいる、といったことが当たり前になりました。そんな有名な選手達と練習試合をしたり、彼らのプレーを間近で見たりできるのは名門校出身でも何でもない私にとっては、とても貴重な経験でした。

私は、「このチャンスを活かしたい。バレー技術を高めたい。そして引退し、教師になったときに生徒に伝えていきたい。」という思いもあり、部活動に入ることを選択しました。

大学は自分の好きなことや興味のあることに取り組む時間が多く取れる分、自分の理想を追求することができます。また、自分にとって興味のあることに取り組めるのでとても楽しいです。高校を卒業したらみなさんもぜひ自分の理想を追求してってください。



卒業式。バレー部監督と同期の仲間たち。

教員になって

今は岐阜県の高等学校の教員をしています。

授業や部活指導、生徒の進路指導など多くの仕事があります。また、他の先生方の時間割の決定、成績管理、書類の作成のような、生徒とは直接関わりのない仕事もあります。残業をすることもあります。正直、結構忙しいです。ですが、今私がしている仕事が回りまわって生徒のためになっていることを思うと、苦ではありません。

学校でしている仕事は、どんな小さなことでも生徒につながります。自分が手を抜けば抜いただけ生徒が損をします。ですが、反対に自分が一生懸命になればなった分、生徒が成長するきっかけとなります。先生と生徒といった違う立場でもお互いに一生懸命になることに変わりはありません。生徒の「わかった!」「できた!」という瞬間や成長した姿を目にしたときの感動は他の何にも変えられません。そ

の瞬間に出会えた時、教師になってよかったと強く思います。

教師を目指している後輩のみなさん、教師は本当にやりがいがあり、楽しい仕事です。みなさんと同じ職場で働く日が訪れるのを今から楽しみにしています。頑張ってください。

長い内容でしたが、最後まで読んでいただきありがとうございました。これを読んでくださった多くの後輩のみなさんの高校生活が充実し、そして皆さんの理想の進路が実現されることを期待しています。



授業風景